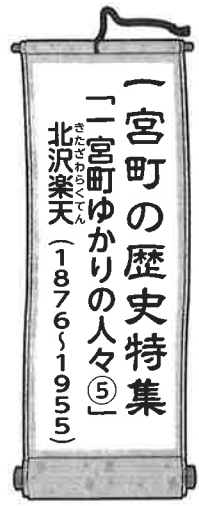


【広報文化財コラム】「一宮の歴史特集」⑤

平成28年12月号



北沢楽天は日本初の職業漫画家といわれている人物です。

楽天は明治9年（1876）、東京で生まれました。本名は保次とい
ます。明治32年（1899）、福沢諭
吉が主宰する時事新報社（新聞社）に
絵画記者として入社、政治や社会風
刺画を発表するようになり、明治36
年（1903）頃から「楽天」のペ
ンネームを使い始めました。明治38
年（1905）には日本初のカラー漫
画雑誌「東京パック」を創刊、

大正10年（1921）には時事
新報から日本最初の新聞日
曜漫画版として「時事漫画」
が独立し、楽天はそのカラー
漫画版を担当するようになり
ます。

昭和7年（1932）に時
事新報社を退社、その後は東
京の自宅アトリエで「楽天漫
画スタジオ」を開設、昭和9

年（1934）に「三光漫画スタジオ」
と改名し、後進を指導しました。戦後
は埼玉に移住し、昭和30年（1955）
に79歳で亡くなるまで日本画を描く
日々を送りました。第2次世界大戦前
に発行された『楽天全集』は手塚治虫
に影響を与えたといえます。

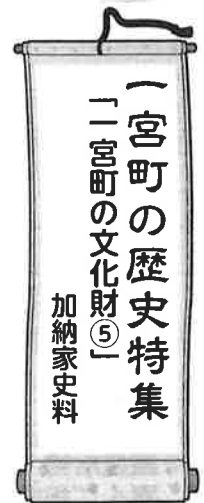
楽天は一宮川沿いに別荘を所有して
おり、亡くなるまでたびたび一宮を訪
れています。大正元年（1912）に
は自らが経営する楽天社から『一宮案
内記』という観光案内を刊行しました。
南宮神社に伝わる楽天の絵馬（町指定
文化財）など、町内にもその作品は多
く残されています。



▲北沢楽天筆色紙「乃木大将」
（一宮町教育委員会所蔵）

【問合せ】 教育課 ☎(42)1416

平成29年1月号



「加納家史料」とは、元・千葉県知
事の加納久朗（1886~1963）

関係の文書群です。戦前から戦後にか
けての書簡や日記、スクラップブック、
また久朗の父・久宜ひさよしに関する資料まで、
総数は1686点にもなります。平
成11年（1999）にこれらの資料は
町に寄贈され、現在、教育委員会で保
管しています。

この文書群には、久朗が横浜正金銀
行（現三菱東京UFJ銀行の前身とさ
れる）のロンドン支店長として、戦前
・戦中に日本外交に関わり、活躍したこ
とがわかる資料が豊富に収められてい
ます。吉田茂（1878~1967）、
元内閣総理大臣）を始め、木戸幸一
（1889~1979、内大臣などを
経験）といった著名な財政界人とのや
り取りの記録が残されており、戦中に
親英派として、彼らと共に戦争回避に
尽力した姿を伺い知ることができま

す。

また久朗が日本住宅公団総裁時代の
日記などの書類や晩年の千葉県知事時
代（在任わずか111日）の資料も残
されています。

このように「加納家史料」は戦中・
戦後の日本の外交・政策だけでなく日
本近現代史を語るうえでも貴重な資料
なのです。



▲「加納家史料」(一部)

※「加納家史料」の目録は「加納家史
料目録」として2005年に教育委
員会より刊行されています。

【問合せ】 教育課 ☎(42)1416